

WJOG がん治療と仕事の両立支援 エキスパート養成研修会 シーズン2

チームで取り組む がん患者の就労支援 Vol.7

日時：2025年8月3日（日）9：30～15：30

会場：兵庫県立がんセンター 大会議室

アクセスMAPリンク⇒：<https://hyogo-cc.jp/about/access>

募集施設数：近畿地方の病院を対象に、4-5施設

参加資格：応募要項確認（裏面）

実施方法：集合型セミナー（オンライン配信は予定しておりません）

8/3（日）プログラム

9:00-9:30 開場・受付・研修前アンケート記入

9:30-9:55 オリエンテーション（25分）

1. はじめの挨拶（3分）
2. 研修内容の説明・スタッフ自己紹介（7分）
3. 参加施設自己紹介（15分）

9:55-11:05 ディスカッション①（70分）

『支援ニーズのキャッチと、病院内での連携体制の構築』

1. キースライド・ディスカッションポイント提示（10分）
2. グループディスカッション（40分）
3. グループ発表+Q&A（20分）

11:10-12:20 ディスカッション②（70分）

『企業とのより良い連携を目指して(医師・MSW)』

『継続的な支援のための工夫(看護師・薬剤師・PT・OT等)』

1. キースライド・ディスカッションポイント提示（10分）
2. グループディスカッション（40分）
3. グループ発表+Q&A（20分）

12:25-12:55 昼食・休憩（30分）

12:55-13:25 基調講演（30分）

『患者さんの目線から』

1. 講演+Q&A

13:25-14:35 ディスカッション③（70分）

『事例ディスカッション』

1. 症例プレゼンテーション（10分）
2. グループディスカッション（40分）
3. グループ発表+Q&A（20分）

14:40-15:10 院内取り組みシートの作成（30分）

1. 取り組みシートの説明と記入（20分）
2. グループ発表（10分）

15:15-15:30 クロージング（15分）

1. 修了証授与（10分）
2. まとめと閉会の言葉（5分）

※研修前アンケート1、研修後2は参加者様全員にご協力をお願いいたします。

お申込み方法：下記のURL、または、QRコードよりお申し込みください

<https://forms.gle/wV5EX9KGRgSddFpn9>



申し込み締め切り：2025年7月4日（金）

参加者への連絡：7月中旬に参加施設には個別に連絡いたします



『WJOG がん治療と仕事の両立支援 エキスパート養成研修会』 <概要>

近年のがん治療の進歩と目覚ましい予後の改善により、働くがん患者さんの『就労支援』のニーズが飛躍的に高まっています。しかしながら、肺癌などがん診療に従事する医療者の就労支援に関する知識や問題意識は現状では不十分であり、その大きな要因として、**医療従事者を対象とした就労支援に関する教育の場の不足**があると考えます。

そこで、西日本がん研究機構（WJOG）では、ファイザー株式会社の医学教育助成を得て、病院の患者支援チームを対象とした実習・討論型教育プログラム『WJOG がん治療と仕事の両立支援 エキスパート養成研修会』をスタートしております。昨年までに4回（東海地区・関東地区・関西地区・九州地区）にて実施いたしました。

2024年度より、ファイザー株式会社の医学教育助成をいただけることが決まり、『シーズン2』として継続して『WJOG がん治療と仕事の両立支援 エキスパート養成研修会』を実施しております。

第5回目は、中国・四国地方の病院を対象に四国がんセンターにて実施、第6回は甲信越地方を対象に新潟大学病院にて実施いたしました。

第7回目は、近畿地方の病院を対象に、4-5施設を公募にて選出し、開催させていただきます。以下の概要と、応募条件をよくご確認頂き、施設内でお誘いあわせのうえ、奮ってご参集くださいますよう、お願い申し上げます。

<日時>

2025年 8月3日（日） 9：30～15：30（開場9：00）

※集合型セミナーとなります（現時点では、オンライン配信の予定はございません）。

参加者の皆様には、eラーニングによる事前学習を必須といたします。

<会場>

兵庫県立がんセンター 2階大会議室

アクセスMAPリンク⇒：<https://hyogo-cc.jp/about/access>

<応募条件>

- ①各**3-6人のチーム**で参加できること
- ②以下の**3職種**を必ず含むこと：（1）**医師**（専門科は問わない）、（2）**看護師**、（3）**ソーシャルワーカー／相談員**
- ③自費で**現地参加が可能**なこと（※参加費徴収はありませんが、旅費支給無し）
- ④病院が参加を許可すること

<eラーニングプログラムについて（各15分×5つ）>

eラーニングプログラム	講師（敬称略）	内容（詳細説明）
1. 『なぜ今、就労両立支援が必要なのか』	池田 慧	長期生存時代における、両立支援の意義と現状、病院の多職種が一丸となって取り組むことの難しさ
2. 『支援のニーズをいかにキャッチするか』	高橋 都	相談員へどうつなぐか。医療従事者への教育、患者さんに気付きを得てもらう方法
3. 『病院内での連携体制の構築』	小澤 雄一	各職種を巻き込むには。療養・就労両立支援指導料をいかにして算定？ 阻害因子は？
4. 『企業とのより良い連携を目指して』	立石 清一郎	企業側と医療側の思いのギャップ、主治医意見書の書き方
5. 『継続した支援と、さらなる発展のために』	細田 悦子	支援をいかに継続発展、患者さんの実際のアウトカムや満足につなげるか、それをどう評価するか

<主催・後援>

主催：西日本がん研究機構（WJOG）・兵庫県立がんセンター

<問い合わせ先>

特定非営利活動法人 西日本がん研究機構 事務局 大原 安田
TEL:06-6633-7400（平日9時～17時）MAIL:wjog@wjog.jp